

## 国連防災世界会議パブリックフォーラム

ユニセフシンポジウム「レジリエントな社会を、子どもたちと」が、3月14日（土）午後に東京エレクトロンホール宮城で開催され、県内だけでなく全国各地からおいでいただき、700名が参加しました。ユニセフ本部のエドワード・チャイバン事業局長や東日本大震災の被災地の現場で活動する各分野の専門家を迎え、「遊び」、「居場所」、「参加」をキーワードに、子どもに視点を置いた復興や防災のあり方がディスカッションされました。コーディネーターは日本ユニセフ協会アグネス・チャン大使。相馬市立飯豊小学校の子どもたちから「私たちが考える防災」が発表されました。隣の定禅寺ギャラリーでは、スマトラ沖地震で被災したバンダ・アチェを10年後の昨年末に訪れた『長谷部誠選手が見た、感じた“レジリエンス”』写真展や仙台市立七郷小学校の児童が制作した模型『未来のまち・七郷』、1000年後の命を守るために建立された女川『いのちの石碑』（展示は実物大パネル）、東北3県を走り回る『プレーカー』なども展示されました。女川中学校の生徒たち（今は高校生）は、取り組みの想いを話し、アグネス大使はじめギャラリーに集まった人々に感動を与えました。“子どもの視点での復興と防災”の取り組みの必要性が多くの方に理解されたフォーラムでした。



## 出前講座 & 募金贈呈式 3月6日

大崎市立古川第五小学校の6年生155名にユニセフ活動をお知らせする機会がありました。6年生が中心になって募金活動が行われ、2日間で42,032円の協力がありました。低学年にも理解できるようにチラシを作り呼びかけたそうです。皆さんの心温まる募金が世界の子どもたちに役だっていることを、画像と映像を使いながら伝えました。



熱心に「ユニセフと地球の子どもたち」を見ます

## 3月23日亘理町吉田保育所落成式に参加しました

震災の津波で全壊した荒浜、吉田両保育所の新園舎が完成し、落成式がありました。それぞれ小学校に隣接し、災害時には校舎に一時避難して園児の安全を守ります。ユニセフが建設した児童福祉施設が縁での参加でした。



## バヌアツの自然災害緊急募金、ありがとうございました！

3月30日、連合宮城様と宮城県労働者福祉協議会様より、バヌアツを襲ったサイクロンで被災した子どもたちを支援するための募金50万円をいただきました。必要とされている480万米ドルのうち、まだ2割しか募金が寄せられていません。学校再開などのために有効に使わせていただきます。



## 2015年度第1回理事会・評議員会を開催しました

2月25日、江陽グランドホテルにて開催しました。昨年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算についてご承認いただきました。今年度20周年を迎えるにあたり、さまざまなイベントを通してユニセフの活動をお知らせし、ユニセフ支援につながるよう努めてまいります。